

三井記念病院の 登録医紹介

32

三井記念病院では、地域医療機関との相互連携を一層密にし、医療を必要とする患者さんのニーズに応え、適切で切れ目のない医療提供の実現を目指しています。このコーナーでは、三井記念病院の登録医としてご協力いただいている先生方を紹介していきます。

秋葉原・胃と大腸肛門の 内視鏡クリニック

秋葉原駅から徒歩1分の場所に位置する「秋葉原・胃と大腸肛門の内視鏡クリニック」。土日の検査・診察対応や24時間ウェブ予約が可能など、患者さんが「受けやすい内視鏡検査」の提供に力を入れています。昨年1月に本クリニックを新たに立ち上げた早坂院長にお話を伺いました。



Interview
早坂 健司
クリニック総院長(管理者)



- 住所：東京都千代田区神田佐久間町1丁目13
チョムチョム秋葉原ビル9階
- TEL：03-3251-7149
- 診療内容：胃腸科・消化器内科・内視鏡内科・
肛門外科・肛門内科
- 診療時間：月～土 9:00～12:00、14:00～17:30
日 9:00～12:00、14:00～17:30
(日曜午後は予約検査のみ)
- 休診日：祝日のみ休診
- URL：https://www.akihabara-naishikyoku.com

— 医師を目指したきっかけと消化器内科を選んだ理由を教えてください。

父親が医師だったこともあり、小さい頃から人を治す・助ける職業に就きたいと思っていました。消化器内科を選んだ理由は、家族や身近な人が困っている時に助けられる医師になりたいと思っていたこと、大学の臨床実習で内視鏡に触らせてもらった時に面白いと思い、また内視鏡検査を行うことによって、がんの早期発見・治療ができることに魅力を感じたためです。

— クリニックの特徴を教えてください。

一般的に内視鏡検査は「つらいもの」と感じている方も多いのではないのでしょうか。胃カメラで苦しい思いをしたり、大腸カメラであれば下剤を服用して数時間待機する必要があったり…しかしながら、内視鏡検査によって胃がんの原因になるピロリ菌感染性胃炎や、大腸がんの原因となることがある大腸ポリープなどの疾患を発見することができます。特に大腸ポリープは自覚症状がないため検査を行わないと発見ができません。早期発見・予防という観点からも多くの人に受けてほしいと思っています。

だからこそ本クリニックでは、患者さんが来ていただきやすくなるような環境づくりに力を入れています。

胃も大腸も鎮静剤を用いた内視鏡検査を基本としているため、患者さんは寝ている間に検査を終えられます。また、前述の通り大腸検査の前には下剤を服用しますが、自宅での内服が不安な方もいらっしゃるかと思います。当クリニックでは専用トイレ付きの待機用個室を11室用意しております。何かあった場合もスタッフがすぐに対応できますので、安心して準備いただけます。

— 来院される患者さんの傾向などはありますでしょうか。

コロナ禍以降、機能的ディスペプシアや過敏性腸症候群といったストレスに起因する疾患が急増しました。また、ここ秋葉原はビジネス街ということもあり、働き盛りで検査に来る時間も惜しい、という方も多いです。当クリニックは土日も含めて毎日診療*していますし、午前中に内視鏡検査を終えられる枠もあり、検査結果も基本的には即日お伝えするようにしますので、患者さんの生活にフィットしたサービスを提供できていると思います。

万が一検査結果で気になる症状が見られた場合でも、緊急性の高い症状については三井記念病院さんに紹介させていただき、可及的速やかに精密検査を受けていただくことができます。こうしたフットワークの

軽さを活かし、様々な疾患に対応できるよう心掛けています。

— 地域医療連携についてのお考えをおきかせください。

三井記念病院さんは地域の皆さんからの信頼も厚く、しっかりした治療が受けられるので患者さんにも一番紹介しやすいです。投薬やポリープの切除など、プライマリーな治療は当クリニックで対応しながら、より高度な治療が必要な部分は三井記念病院さんでバックアップしてもらえということが、患者さんの「ここにすれば治る」という安心感に繋がっていると思います。

— 今後の展望を教えてください。

クリニックの立ち上げ以来、次第に口コミも広がって、内視鏡検査に来ていただける患者さんも増えています。今後は近隣の人間ドックなどと連携し、働いている人のサポートにも役立つような、より一層地域に密着した活動を増やしていきたいです。



専用トイレ付きの待機用個室。タブレットで動画が見られるなど、患者さんがリラックスできる空間となっている。